

〈広報〉
第30号
令和2年
6月15日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ
協議会
新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

新型コロナウイルス

緊急事態宣言に

地域社会はどう向き合ったか?

新型コロナウイルスの感染拡大が日本列島を席捲、四月七日、国からの緊急事態宣言に沿って市内のイベントや地域行事が中止、延期になりました。新潟市内で一例目の感染者が確認されたのは二月二十九日(土)、同市は三月初め感染予防対策の観点から不特定多数が集まる地区の会合、行事について自粛する旨の通達を出し、各地区の自治会、コミ協、社会・文化団体などに協力のお願がありました。

この要請に対して青山小学校区コミュニティ協議会は、当面の総会、関連イベント・行事について実施の可否を決め、青山コミュニティハウスは市からの指示で左記の日程で休館しました。

▽コミハウス休館 令和二年四月十日(金)～同二十七日(月)、引き続き五月十日(日)まで延長になり、さらに五月三十一日(日)まで再延長されました。六月一日(月)「三密」徹底などの条件付きで開館となりました。

休館対応した
コミハウス玄関



▽令和二年度の次の定期総会は書面による議決方式で対応しました。

- 青山小学校区コミュニティ協議会
- 青山小学校地区社会福祉協議会
- 青山小学校区自主防災会
- 新潟西交通安全協会浦山支部
- 浦山地区自治協議会
- 有明地区自治協議会

- ▽中止した事業
- 花文字花壇づくり
- 中止・延期予定の事業
- 信濃川クリーン作戦
- 有明ふれあい祭り

そうめん流し
新潟シテイマラソン



青山小学校区コミュニティ協議会役員

役職	氏名	所属
会長	中藤 榮子	
副会長	打越 輝郎	有明自治協会
副会長	岩田 将勝	浦山自治協会
総務部会長	田中 米三	自治会兼務
環境安全部会長	田嶋 豊信	自治会兼務
文化スポーツ部会長	矢口 弘	児童委員兼務
福祉部会長	村井 良次	自治会兼務

令和二年度の新任自治会長は次の通りです。

- ▽有明自治協議会
 - 小針 松美台……佐藤 雅志
 - ネオハイツ有明……柳澤 将雄
- ▽浦山自治協議会
 - 浦山中央区……犬井 春樹
 - 青山寮……戸田 創太郎

買い物難民と

浦山商店街振興



浦山地区の買い物難民化が急ピッチで進んでいます。昨年从今年にかけてラーメン屋、餅屋、衣料品店が相次いで店仕舞いしました。ここ数十年の間に食料品店や菓子店、時計屋、銀行支店、スーパーなどが次々に姿を消し、昨今、営業しているのは、肉屋、パン屋、居酒屋、コンビニなど数軒程度と近場での買い

物や外食が至難になっています。商店街の形骸化とともに、住民は遠距離の買い物を強いられています。

周辺の買い物物は青山ショッピングセンター、関屋分水を渡って信濃町のスーパー「ウオロク」か、西大通りを横切って「イオン新潟青山」へ。近年は高齢者の交通事故多発に伴い運転免許証の自主返納者も多く、徒歩ではかなりの時間がかかり、買い物は大仕事となっています。そんな中、「ウオロク」が五月中旬から金衛町に移転したため、浦山からはさらに遠くなり、買い物難民化が増幅している現状です。

浦山地区の買い物難民化については、数年前から西区役所幹部が出席する区政懇談会の地域課題として話し合いを続けています。地域住民の斬新な発想と行政側の商店街振興の施策、令和の新時代に向けた地域振興策を模索する熱い協議を進めていかなければなりません。

(石附七司・元浦山六区自治会長、新潟市郷土史研究会会員)

浦山商店街は閑散としており、人影もまばら。



うちの自治会 シーズン2

青山三区

高齢化にどう向き合っ

会長 柏谷 力

青山三区自治会は三三八世帯で有明地区では二番目に多い世帯数です。海側には松林が広がり、大勢の方の散策場所になっております。

年間行事は青山小の児童と一緒に青山保安林での野外観察会、夏休みの親睦会、三月には六年生に卒業祝いとして

図書カード進呈。敬老の日には七十歳・七十七歳・八十歳の皆さんに祝品贈呈。十一月は、要支援者と守る会の交流会などがあり、昨年度は西警察署から特殊詐欺防止の講演をいただきました。

本年度のテーマは「終活」の予定ですが、高齢化でなかなか新規事業は進まない状態です。進行する高齢化にどう向き合っていくか、大きな課題です。



野外観察会(令和元年・初夏)

空席の浦山四区、中央区担当の民生委員・児童委員に神田清枝さんが就任しました。

関屋分水

異変の初夏

コロナ禍で「花文字」中止

例年であれば花文字花壇に咲く花や、7年ぶりに剪定されたポプラ並木や植樹された7本の桜が加わった桜並木の緑が関屋分水路堤防の景観を際立たせていたに違いない。

コロナ禍で一変、花壇前には「植栽は中止」の立て看板が花の代わりに、ポプラは剪定後の枝葉が出たけれど、いつもとは違う様子。桜並木は早めの満開時期を迎えたが花見に異変もありました。

そんな中でも植栽された7本の若木桜に数個の花が咲きました。開花は根付いた証でもあり、現在も有志数人が水やりを分担し世話を続けています。浦山公園の水道蛇口のところにジョウロが置いてあり、



通りがかった際に、水やりも可能です。力自慢の方、また足腰を鍛えたい方は是非一回挑戦をお願いします。マスク不要の普通の生活に戻るよう祈るばかりです。

分水を彩る

桜並木とポプラ

関屋分水左岸の桜並木の一部が枯死して景観を損ねているため、若木桜を補植する作業が三月十四日行われました。作業は新型コロナウイルスの感染防止のため、参加人数を大幅に縮小して実施しました。当初は

西区役所、青山小学校児童クラブ、周辺自治会役員らが参加する段取りでしたが、時節柄、中藤榮子コミ協会長、岩田將勝浦山自治協議会会長ほか、関屋分水の緑化に植樹奉仕してもらった新潟八千代ライオンズクラブの山本建治会長ら少人数の関係者で対応しました。

桜の補植作業のほか三月初旬には分水堤に林立しているポプラの剪定も実施しました。サンシャイン青山前の道路を通行止めし、大型クレーン車が出動しての大きがかりな剪定作業でした。ポプラの成長は早く、巨木になると倒木の危険のほか、強風による騒音が大きく周辺の迷惑になるため、一定の年数単位で剪定しています。



◀桜の植樹作業をする参加者たち

お元気 ですか？

コロナ禍の中 見守り訪問

オリンピック

イヤーの幕開けに

心躍らせたのも束の間、
新型コロナウイルスが私たちの生活にこれ
ほど深く関わるとは誰も想像していなかつ
たことでしょう。

高齢者の相談窓口である、私たち地域包
括支援センターでは、外出自粛が続く中、
高齢者の閉じこもりによる弊害を心配して
いました。そんな時、私たちと同じ想いを
抱いた西有明町第一自治会から「高齢者の
見守り訪問を一緒にしませんか」とご提案
いただきました。

五月十四日、汗ばむ陽気の中、八十歳以
上の方を訪問しました。自治会役員の「元
気だったかねー」のかけ声、続いて私たち
が体調の異変や困り事はないか尋ねました。
「お茶の間が休みで寂しい」、「外出が減り、
足が弱った」等の心身の不調を訴える方が
多くいました。しかし、すぐに支援が必要
な困り事はなく、ホッとしました。また、
自治会役員と訪問先の方々との親しげな姿
を見て、普段からの人間関係が有事の時こ
そ大切になると再認識しました。西有明町
が長年培ってきた福祉活動の底力を垣間見

た見守り訪問となりました。

地域づくりは専門職だけではできません。
今後も地域の皆様と共に、地域に根差した
活動を進めて参りたいと思います。

コロナをめぐる消費者トラブルが多発し
ています。巻き込まれないよう気を付けて
ください。(包括支援センター 小新・小針)



青山小児童がボランティアさんへ感謝の礼状

「六年間お世話になりました」

「六年間お世話になりました」。今春、青山小学
校を巣立った六年生から見守ってもらった地域
の方々に感謝の言葉を込めたお礼の葉書が届きま
した。日頃同校を応援してくれている学校支援のボ
ランティアさん達です。新型コロナウイルスの感
染拡大に伴う外出自粛などで心がふさいでいると
ころへ思いがけない礼状の葉書、例年とはひと味
違ったうれしい春の訪れでした。すぐに学校へ喜
びの返信を書いた方もいました。前自治会長の佐々
木登良夫さんは「学校の応援は長年やってきたが、
葉書を読みながらうれしさがこみ上げてきてすぐ



青山小児童からの感謝の葉書

に学校へ電話を入れて喜びを伝えた」と興奮気味
で話してくれました。先生方も反響に喜んでいま
した。児童は卒業式を目前に臨時休校になり、卒
業式は例年とは違った形で行われました。葉書を
もらった方々を代表して「何事にも負けず頑張り
てね」と感謝の気持ちを込めてエールを送ります。

(越村正美)